上町台地界隈の情報紙

うえまち

2021年9・10月号
号外 2021 9

発行：NPO法人 まち・すまいづくり
発行人：竹村信郎
TEL&FAX.06-6779-7222
http://www.machi-sumai.com/
52uemachi@machi-sumai.com
〒543-0043
大阪市天王寺区勝山1-11-29

2023年 聖徳太子1400年御聖忌記念

四天王寺 第27回 新縁起

元和の再建

四天王寺 勤学部
文化財保主任・学芸員
一本崇之

徳川家康は、元和元（1615）年11月、南光坊天海らびに四天王寺一舎利雲順・二舎利通順・秋野坊祝順を二条城に呼び寄せ、四天王寺の伽藍再建の命を下します。その内容を記した「四天王寺法度」により、四天王寺の寺務を天海が取り仕切ることとなり、伽藍再建のために千枚分銅金6つを下付することなどが定められました。

天海は天台宗の僧侶で、家康の参謀として幕府の仏教政策・宗教政策に深く関与した人物です。この天海以降、四天王寺の寺務は、日光の輪王寺門跡が代々司ることとなり、輪王寺末寺として幕府の強い影響下に置かれました。なお、「千枚分銅金」とは非常時に備えられた黄金のことで、1つが大判1000枚分（約165kg）の金塊になります。大判1枚が今の価値で約290万円ともいわれ、それが6000枚分ですので、四天王寺再建のために幕府が用意した費用の大きさがわかります。

元和3（1617）年9月21日、家康のあとを継いだ徳川秀忠によって、豊臣家の再興を警戒する豊臣恩顧の大名の中から、普請奉行（奉行）が任命され、事業が着手されます。再建に際しては、全体を4つの組に分け、金堂組を片桐主膳正、五重塔組を小沢体務、六時堂組を甲斐庄喜右衛門、太子堂組を赤井豊後守忠泰の各奉行が担当することとなりました。そして元和4（1618）年9月21日、伽藍再興の新（ちょうな）始めが執り行われ、工事が開始されます。

完成までの具体的な進捗については記録が残りませんが、元和9（1623）年7月9日には、秀忠が完成間近の四天王寺に参詣しています。このとき秀忠は火除けのため、伽藍境外にあった民家50戸に退去を命じたといいます。翌日には、この詰問と伽藍再興の成就に対して、四天王寺から秀忠にお礼を言上しています。

そして9月21日、大坂の陣による焼失から9年の歳月を経て四天王寺の伽藍が再興されました。この再興については、堂舎をはじめ荘厳や仏像・仏具に至るまでの詳細な引渡し書である「天王寺御建立堂宮諸道具改渡帳」が残っており、事業の規模と内容を詳らかに確認することができます。また、この元和再興伽藍の絵図も多数描かれており、全貌をうかがうことができます【写真】。

現在も境内に残る六時堂・元三大師堂・五智光院・本坊西通用門・鐘楼方丈・中之門といった建物は、この元和再興時の建物で、いずれも近世四天王寺の歴史的建造物として、重要文化財や大阪市の文化財に指定されています。また、絵堂に安置された狩野山楽による聖徳太子絵伝も現存しており、その名残を実際に目にすることができます。

この元和再興ののち、享和元（1801）年の雷火によって伽藍が焼失するまで、四天王寺はおよそ180年にわたる平穏な時を迎えます。

元和再興の四天王寺伽藍【摂津国四天王寺図（部分）、四天王寺蔵】

相羽秋夫の 上町らくご植物園

植物が登場する落語を取りとり上げ、落語評論家の相羽さんならではの面白い視点で読み解きます。

第28話 ナスも近づく―茄子

東京落語「茄子娘」

田舎の寺の和尚、自分の畑の茄子（なす）に「大きくなったら菜（さい）にしてやる」と声を掛けると、茄子は妻（さい）にしてくれると勘違いして和尚の寝床に忍んで来る。そこで目が覚め、和尚は淫らな夢を見るのは修行が足りぬと旅に出る。7年後に寺に帰ってみると、可愛い娘が1人いて「お父ちゃん」と呼ぶ。「出家の私に娘がいるはずがない」と言うと、「7年前に裏の畑の茄子のお腹に宿って生まれた子です」と聞いて和尚「うーむ、親はナス（無す）とも子は育つ」。

茄子はナスビとも発音する。いる。どうして茄子が縁起が良いか不明だ。古くから日本には茄子（なすび）はならぬ）は、平凡な品には品下のような非凡な子は生まれないの意で、ここでも茄子は高い評価だ。まったく反対の解釈がある。秋茄子は美味なので嫁に食わさない姑の嫁いじめ説と、「秋（あく）が強いので体に悪いからとするいわれ説があって結論は出ない。

こんな掛頃（すり）の名人がいた。時計の本体だけを瞬時に抜き取り、鎖（かん金属の容器）を戻す凄い技を「茄子鍵」と、盗人仲間は讃える。

一「茄子」と掛けて大会前日のイベントと解く。その心は善野薬（前夜祭）。

NPO法人「まち・すまいづくり」活動報告

各種予約・お問い合わせはNPO法人「まち・すまいづくり」まで
TEL：06・6779・7222

住まいと暮らしの無料相談会

9月11日（土）・10月9日（土）
各10時～12時

大事なことなのだけど、なかなか日常生活では相談できない住まいと暮らしの「困った！」はありませんか？

住まいと暮らしの無料相談会には司法書士、税理士、宅地建物取引士、一級建築士といった専門家が出席。専門知識を生かしご相談に応じます。公務等で欠席する場合もありますので、なるべく事前にご予約をお願いいたします。

場所：大阪市立社会福祉センター（大阪市天王寺区東高津町12・10）

「上町台地 名所百景」発売中

「うえまち」15周年記念企画「上町台地名所百景」を上町の地図にしました。定価400円（税込）。大阪歴史博物館のミュージアムショップで販売しています。

うえまち寄席

11月27日（土）14時開演

桂佐吉、桂ちょうこによる、上方落語発祥の地・上町台地にふさわしい、古典を中心とした落語会です。

場所：心寺南会所（大阪市天王寺区逢阪2・7）
入場料：2000円

電子チケット販売サイト「TIGET（チゲット）」からも予約可能です。

上町台地界隈の情報紙
うえまち
揮毫 一心寺 長老 高口恭行 師

2021年9-10月号
号外 2021 10

発行：NPO 法人 まち・すまいづくり
発行人：竹村伍郎
TEL&FAX.06-6779-7222
http://www.machi-sumai.com/
uemachi@machi-sumai.com
〒543-0043
大阪市天王寺区勝山1-11-29

二〇二二年 聖徳太子一四〇〇年御聖忌記念

四天王寺

新縁起

第29回

東大門と経輪蔵 ―焼失した建造物

四天王寺 勧学部
文化財係主任・学芸員
一本崇之

現在、四天王寺には六時堂や五智光院など、元和９（１６２３）年に再建された近世の伽藍が６棟残っており、いずれも重要文化財や大阪市の文化財に指定されています。実はほんの数十年前までは、このほかにも桃山時代や江戸時代に遡る古建築が残っていました。

その１つが東大門です【写真１】。東大門は、豊臣秀頼の命により片桐且元が普請奉行として建造したと伝えられ、大坂の陣の兵火を免れた四天王寺唯一の桃山時代の建築物でした。桁行六間三尺（約12ｍ）・梁間四間二尺（約８ｍ）の規模をほこり、単層の切妻造で妻が三段に分かれた独特な形状の屋根を持つ、豪華絢爛な大建築であったといいます。『摂津名所図会』においても「彫物美麗にして世に名高し」と評された、当寺唯一の国宝建築でした。

さらに西大門から西重門へと続く参道の北脇に、もう１棟ユニークなお堂、経輪蔵がありました【写真２】。経輪蔵とは経蔵の一種で、堂内には「輪蔵」と呼ばれる回転式の八角形の書架があり、これを回すことによって蔵内すべての経典を読誦したことと同じ利益を得るといわれているものです。

四天王寺の経輪蔵は方五間の宝形造で、堂内中央には輪斗（ひきだし）式の４８０の経箱に、１４５３部６３２３巻に及ぶ一切経典を納めた輪蔵があり、極彩色を施した壮麗なものであったといいます。このほか傅大士（ふだいし）と二子の三像ならびに、大般若経を守護する十六善神が安置されていました。元和９年再建時に建造されたもので、五智光院などとともに徳川による江戸初期の建築として知られていました。

昭和20（１９４５）年３月13日夜遅く、２７４機のＢ29が大阪市上空に襲来、焼夷弾による"火の雨"を降らせました。午前零時半頃、西門付近に焼夷弾が落下し、引聲堂・短聲堂・西大門が燃え上がると、経輪蔵にも火が燃え移ります。丸池からバケツリレーによる必死の消火活動により一度は消し止められましたが、近くにあった寄進所からの火によってついには焼けてしまいました。

午前２時頃、中心伽藍を焼き尽くした炎が六時堂に迫ります。ただちに亀の池の水で消火され、幸い六時堂以北の堂宇は焼失を免れます。しかし、その間に勝山通の民家の火が東大門に燃え移っていました。六時堂の消火活動を終え、消防隊が駆け付けた頃には、すでに劫火に包まれる東大門の姿があったといいます。中心伽藍と並んで四天王寺の象徴であった、桃山時代の壮麗な東大門もここに焼け落ちたのでした。

東大門は昭和61（１９８６）年に再建されましたが、経輪蔵はいまだ復興がかなわず、参詣者の憩いの場となっている西大門前の広場にひっそりとその礎石を残しています。

【写真１】東大門

【写真２】経輪蔵

相羽秋夫の

上町らくご植物園

植物が登場する落語を取り上げ、演芸評論家の相羽さんならではの面白い視点で読み解きます。

第29席 上方落語「昭和任侠伝」

草か木か―バナナ

仁侠映画を観て、すっかりヤクザに憧れた男がいた。着流し姿で街中を歩く。まず入れ墨を入れることだと、施術を試みるが余りに痛くて断念する。次に、罪を犯して箔（はく）を付けようと、果物屋の店頭でバナナを１本だけ盗む。警察につき出されるが、微罪なため、説諭だけで放免される。帰宅するや、男は思うようにいかないのを、「ああ、人生真っ暗闇や」と嘆くと、男の母親「あほ！　今は停電でや！」

バナナに甘蕉（かんしょう）という漢字を当てるが、本来は英語である。中国原産の芭蕉（ばしょう）を「葉芭蕉」と言うのに対し、熱帯アジア原産のバナナを「実芭蕉」と呼び別ける。

輸入先はフィリピン・エクアドル・コロンビア・台湾などが主な国だが、最近では沖縄や小笠原諸島でもさかんに栽培されている。

１９０３（明治36）年、台湾から初めて福岡県の門司（もじ）港に、バナナが輸入された。これが大好評で、その後も門司港に運ばれたが、現在のように冷蔵技術が高くないため、輸送中に熟したり傷ついたりしたものが多かった。それらを低価格でさばくため、「たたき売り」が始まった。ＪＲ門司港駅前には、「バナナの叩き売り発祥の地」と書かれた碑が建っている。たたき売りは、バナナが"専売"で、リンゴやミカンなど他の果物には見られない。

港ついでに、コンゴ民主共和国には、「バナナ港」という港町がある。「バナナプラグ」は、電気器具名で、差し込み部分の中央がふくらんだプラグのことである。

アメリカで「バナナ」というスラング（俗語）が残っている。皮は黄色、実が白色であるところから、米国のことしか知らない東洋系の米国人のことを指すそうだ。差別そのもののスラングだ。

「くちづけはふいにバナナの木の真下」とはロマンチックな句ではないか。「好かれても疎まれても私はバナナ」。熱狂的なバナナファンの吐露である。

―「バナナ」と掛けて嘘が下手な人と解く。その心はすぐ皮が剥（は）がれる。

大人のための文章教室

ライター・編集者 松本正行

本当にして欲しいときは肯定文で

電源をオンにしたまま動かさないでください。

文章を書く上で大切にしたいのが「明快さ」です。はっきりと道筋を示せているかどうか、という意味ですが、否定文と肯定文を比べた場合、肯定文のほうが明快でわかりやすい（「無償修理はできません」と「有償修理になります」など）。また「できません」「しないでください」を高圧的に感じる人もいます。指示や依頼をする場合は、できるだけ肯定文で書くようにしましょう。

▲

電源をオフにして動かしてください。

ひとつの文の中で否定の形が２度繰り返されるのを二重否定といいます。「あの計画は成功する、と考えられないわけではありません」とすると、傍線の部分が「否定＋否定＝肯定」という構造なのでなんともまわりくどくてわかりにくい。ストレートに「あの計画は成功する、と考えられます」と書けば明快ですよね。二重否定は避けるようにしましょう。

※本連載は「うえまち号外」掲載分以外も、Ｗｅｂ・ＳＮＳ等で閲覧いただけます（ノート　うえまち　で検索）。

上町台地にある高津高校のＯＢ。１０００を超える取材経験をもち雑誌、Ｗｅｂを中心に活動中。ＮＰＯ法人「まち・すまいづくり」会員。